

地域・在宅看護論

専門分野

授業科目	在宅看護総論	講師	氏名	安藤 真由美	開講年次		単位・時間	
			所属	事業所	2年次 前期～後期	1単位 30時間		
			実務経験	訪問看護師				
科目のねらい	少子・超高齢化社会における在宅看護の対象を捉え、対象のニーズに対応した地域包括ケアシステムの仕組みを理解した上で療養者の安全、権利擁護活動を行う重要性を考え、看護師の役割を多職種連携・協働を通して考える。							
到達目標								
知識・技術	1. 世界での在宅看護の変遷を理解し、日本における在宅看護の変遷の違いを説明できる。 2. 在宅看護の必要性と制度の概要を説明できる。 3. 地域包括ケアシステムの仕組みでは常に地域で療養している人々とその家族が中心になることを説明できる。							
思考・判断・表現	1. 地域包括ケアシステムが構築されることにより人々の健康的な生活に与える影響を説明できる。 2. 訪問看護の現状と問題点、在宅で療養する看護の現状と問題点についてグループワークでまとめ発表できる。 3. 地域包括ケアシステムでの多職種の役割・看護師の役割について発表し学びを共有できる。 4. 療養者の安全を守る、権利擁護活動について看護師が果たす役割について説明することができる。							
主体的学習態度	1. 事前学習をして参加しグループワークで、自分の意見を積極的に述べ、ディスカッションすることができる。 2. 教科書及び講義で学んだ知識をベースに他の文献も活用して基礎的知識、講義での知識を活用し自己学習することができる。							
科目評価	定期試験(筆記) 80% 演習参加状況10%、態度10% 合計100%							
テキスト	ナーシング・グラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 (メディカ出版)							
参考文献	系統別看護学講座 在宅看護論 (医学書院)							
回数	教育内容	教育方法			講師	関連科目	留意事項	
		講義	演習	その他				
1	在宅看護の概念 (1) ①在宅看護の対象と背景 ②国民の価値観 ③疾病がある療養者と家族、障害がある療養者と家族	○			安藤真由美	家族看護学 公衆衛生	人口減少と疾病構造の変化、家族の変化について事前に学習しておく。	
2	在宅看護の概念 (2) ①在宅看護の歴史 ②日本の在宅看護の変遷 ③在宅看護 (世界と日本の違い)	○				文化人類学	世界での在宅看護の歴史について事前に学習しておく。	
3	在宅看護の概念 (3) ①訪問看護制度の創設と発展 ②地域での看護活動	○				社会福祉 社会保障 公衆衛生 健康教育	訪問看護ステーション創設の経緯について事前に学習しておく。	
4	発表			○			事前学習、講義を基に「訪問看護の現状と問題点」についてまとめ発表	
5	在宅療養者と家族の支援 (1) ①在宅看護対象者	○		○		地域と暮らし 家族看護学	在宅で療養する療養者、家族の現状と問題について事前学習しておく	
6	②在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件 ③在宅療養の場における家族のとらえ方 ④在宅療養者の家族への看護	○		○		地域と暮らし 家族看護学		
7	発表			○			事前学習、講義を基に「在宅で療養する家族の現状と問題点」について発表	
8	地域包括ケアシステムにおける在宅看護 ①療養の場の移行に伴う看護 ②地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 (地域住民との連携)	○				全ての専門分野 災害看護 社会福祉 社会保障	地域包括ケアシステムの復習をしておく。	
9	③看護師が担うケースマネジメント ④地域ケア会議	○						
10	在宅看護における安全と健康危機管理 ①在宅での危機管理 ②日常生活における安全管理 ③災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理□	○		○				在宅で暮らす療養者にとって、災害時に事前に準備、対応することを事前学習しておく。
11		○		○				
12	在宅看護における権利保障 ①権利擁護	○				倫理学 看護倫理 社会保障		
13	②日常生活自立支援事業 ③成年後見制度、オンブズマン制度	○						
14	発表			○			福津市で災害発生時、「在宅療養者に必要な対応」について事前学習、講義を基に発表	
15	まとめ	○		○				
備考	臨床(病院)での看護師の実務経験をふまえ、臨床に則した授業・演習を行います。							